

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」岡崎校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令を遵守したスペースを確保している。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			法令で必要とされる配置数に加え、職員を1名以上配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			屋外は、玄関に段差はあるが、改善は困難である。屋内に段差は無く、構造化された環境となっている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			各種会議（掃除・防災・感染症）を定期的実施し、業務改善に努めている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			法令に合わせて年1回、事業所評価を実施し、業務改善につなげている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			法令に合わせて年1回、事業所評価を実施している。結果をホームページと事業所内掲示板にて公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	弊社の他事業所と共に、第三者評価の導入を検討していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			事例検討会・ウェビナー研修を月1回以上実施。その他、外部研修への参加など研修の機会を確保している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントをもとに、関係職員で話し合い、児童発達支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			社内で統一したアセスメントシートや発達プログラムを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			複数職員で担当する場合、専門性が求められる場合は、チームで立案を行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			ご利用時に、保護者様と打ち合わせを行っている。情報共有やご要望の把握に努めている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			生活リズムやご要望を把握し、きめ細やかに課題を設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか			○	マンツーマンのニーズに合わせて、個別活動を中心に行っている。集団活動のニーズがあるか、定期的に調査を行う。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝の打ち合わせ等で、確認を行っている。非常勤職員など、打ち合わせに参加できない場合は、会議録等を通して周知をしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			情報共有を行っている。緊急性のない場合は、翌朝の打ち合わせ等で確認を行っている。非常勤職員は、会議録等を通して周知を行なっている。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援記録、業務日報等の記録を残し、支援の検証・改善につなげている。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的に面談を行い、見直しの必要性を判断している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			ガイドラインに沿って基本活動を組み合わせ、一人ひとりに合わせた支援内容を設定している。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			担当者が参加し、それぞれの立場から専門性を活かした話し合いを行っている。事業所内で会議の報告を行い、内容の周知に努めている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			ご要望に合わせて、電話や書面(利用計画・会議録)等で、情報共有を図っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		重症心身障害の受け入れはない。今後、必要に応じて、医療機関等との連携を図っていく。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			ご要望に応じて実施している。会議や文書等によって、情報共有や相互理解を図っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		今年度、該当者なし。今後、保護者様のご要望に合わせて、移行支援を行う。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研修、見学等に参加している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	保護者様の意向を確認し、必要に応じて、今後、実施していく。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			研修、見学の機会があれば参加している。支援員の参加など、拡大を検討していく。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			ご利用時に、保護者様と打ち合わせを行っている。情報共有やご要望の把握に努めている。
保護者への説明責任等	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	保護者様の意向を確認し、必要に応じて実施していく。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約の際、保護者様と書面の読み合わせを実施している。ご質問には、適切にお答えしている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			ご相談内容に合わせて、必要な助言と支援を行っている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	マンツーマンのニーズに合わせて、個別活動を中心に行っている。保護者会等のニーズがあるか、定期的に調査を行うようにする。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			相談に応じて、迅速かつ適切に対応している。体制整備が難しい場合は、その旨をお伝えしている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ブログや掲示板、便りなどを通して、活動内容やスケジュール等を伝えている。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報は、鍵付き書庫等で管理している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			視覚的な補助(図やイラスト、掲示板、便り)等を活用している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	マンツーマンのニーズに合わせて、個別活動を中心にしている。引き続き、定期的にニーズを把握するようにしていく。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各種マニュアルを整備し、定期的に訓練を行っている。保護者様への周知の仕方を再検討していく。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年間スケジュールを作成し、月1回以上の訓練を行っている。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			月1回以上の会議、年1回以上の研修を継続している。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束等について月1回以上の会議を行っている。取り決めに従って、保護者様の了解のもと、必要書類等の記録を残している。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			食事提供なし。現在、食物アレルギーのある利用者様もない。(契約時・契約更新時に把握するようにしている。) 配慮のいる場合は、医師の指示書を提示いただくようにする。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット報告書を作成し、原因と対策についての情報共有を行っている。定定期的に対策の見直しを行っている。

## 保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表：2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」岡崎校

保護者等数（児童数）：18 回収数：18 割合：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18			
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	15	3		算数の教え方を間違えることがある。⇒関係職員で打ち合わせ等を行い、正しく教えられるようにする。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14	4		⇒室内には段差はない。動線に配慮したレイアウトになるよう工夫している。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 <sup>i</sup> が作成されているか	18			
	⑤	活動プログラム <sup>ii</sup> が固定化しないよう工夫されているか	16	2		⇒引き続き、ご利用のたびにご要望を伺い、プログラムの見直しを行っていく。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		6	12	⇒再度、ご要望を調査する。必要に応じて、交流の機会を設けていく。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18			
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	6	10	⇒再度、ご要望を調査する。必要に応じて、会の設立等の連携を図っていく。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	16	2		⇒頂いた苦情に、迅速かつ適切に対応していく。ご要望に応えられない場合は、代案を提示するなど、ご理解いただけるように努める。事業所全体に関することは、全利用者様に周知していく。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13	5		⇒個別のお知らせやお便り等で発信している。今後、必要に応じて、お知らせの方法を再検討していく。
非常時等の対応	⑭	個人情報に十分注意しているか	18			
	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	17	1		⇒時期を決めて、周知・説明を行っている。ご利用開始のタイミングによっては、周知が不十分な保護者様もいるので、時期・回数を再検討する。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	6	2	訓練内容を子ども・保護者に分かるように知らせてほしい。⇒お便りや掲示板等でお知らせしていく。利用者様も訓練に参加頂く。

満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	16	2	⇒来所渋りのご相談を頂くこともある。これまで以上に、利用者様の意欲をサポートできるように努めていく。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	16	2	⇒ご利用のたびに、見学やフィードバックを実施している。今後も綿密な打合せを行い、支援の質を高めていく。

- i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。
- ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせで実施されることが想定されている。